



子どもの貧困を考える ネットワークニュース

2017年10月号

隔月発行

発行:子どもの貧困問題

大阪ネットワーク理事会

10月1日(たかつガーデン・カトレア)

学習支援実践者交流会を開催しました

～求められる「子どもに寄り添う支援の継続」、「国・行政の責任」～

子どもの貧困問題大阪ネットワークでは、「子どもの居場所づくり」活動の現場を訪問し、活動に取り組む実践者の方々と懇談する取り組みをすすめています。

大阪府内の「学習支援」「子ども食堂」などの活動はひろがっており、「支援の場」を提供する団体・個人、支援者や教材・食材の確保、支援を必要とする子どもたちや家庭へのアプローチなど、様々な工夫や繋がりを活かした実践がされています。

理事会では、「学習支援」活動に関わる工夫やつながり、そして課題や悩みなどを共有し、今後の活動につなげられるような場として「第一回学習支援実践者交流会」を開催し22名の参加がありました。



左から 尼谷さん(医療生協かわち野)、石野さん(ちゃおちゃお)、四方さん(子ども・若もの支援ネット)、青野さん(寿光会) 藤永副理事長、中田理事長

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った中田理事長は、大阪におけるきびしい子どもの貧困の実態を紹介するとともに、学習支援など地域における活動の大切さを強調しました。

シンポジウムでは、藤永副理事長をコーディネーターに4つの団体(NPO法人ちゃおちゃお＝大東市、社会福祉法人寿光

会＝柏原市、医療生協かわち野＝北河内地域各市、NPO法人子ども・若もの支援ネットワークおおさか＝河内長野市)の報告を受け、参加者を交えた意見交換を行いました。

報告された4つの団体の学習支援のとりくみ方の違いと特色が議論の中心となりました。ひとつは事業の形態です。2団体は法人の自主事業としての取り組みでしたが、2団体は法制度に基づく事業として進められています。その他、対象を貧困家庭の子どもに絞る「クローズ型」、参加を広く呼びかけ応募者を対象とする「オープン型」の違いや、それぞれの運営の在り方、難しさが議論されました。

その中でも共通して話されたのは、支援者の熱意であり、「学校には行けへんけど、ここには来る」「ここに来たら、勉強する気になる」と語る子どもたちの姿でした。競争と管理が強まる中で子どもたちにとって学校が息苦しい場になっていること、子どもたちが落ち着いて勉強できる状況にない厳しい家庭の状況を痛感しました。

おわりの挨拶にたった柚木理事は「貴重な学習支援の場を継続していくことが大切。その為にも学校教育のあり方を含め教育行政の責任を明確にしその努力を求めていくことが必要」と述べ、学習支援の取り組みの重要性と今後の運動の方向性を示しました。

～私のひとこと～

国や市町村に

就学援助制度の拡充を求めます



全大阪生活と健康を守る会連合会 事務局次長 秋吉澄子

大阪市には、生活保護受給世帯には給食費全額が支給され、経済的に困窮している家庭に対しては2分の1（小学生は全額）を支給する制度があります。しかし、市教委は、学校給食の給食費の滞納者に対して「支払う能力があるにもかかわらず、意図的に滞納している家庭が多い」とみて、回収業務の一部を弁護士に依頼しています。そして、各保護者に対して「学校給食にかかる確認書兼委任状・同意書」（以下、「同意書」）の提出を求め、保護者の勤務先調査も行っています。

10月20日、大阪市の就学援助制度をよくする会は『「同意書」の勤務先調査はただちにやめること』と要望しました。

毎年、「目安額の引き上げ」「入学準備金の領収書添付はやめてほしい」

などの要求項目をかかげ交渉しています。

この“人権問題にもかかわる勤務先調査はやめてほしい”という要望に対して、大阪市の回答は『「同意書」に記載している財産調査は、学校給食費を定期的に納付いただいている方に対して行うことは決してありません。また、一度か二度残高不足等で口座振替ができなかった場合に、直ちに調査を行うこともございません。（略）』というものでした。

やり取りの中で明らかになったことは、財産調査までされる世帯は30軒。その場合は、市税事務所で勤務先を調べて、主旨も説明するというものでした。大阪市の約16万人の児童生徒に「給食費を滞納したら親の勤務先を調査する」と示すことは、教育的観点からみても、ただちにやめて欲しいです。

12/10(日) 全大会議のご案内

M&Dホール(協同組合会館5階) 13時～17時半

◇第一部-総会◇

○2016-17年の活動報告 **参加資料代 500円**

○2017-18年の活動方針について

◇第二部-シンポジウム◇

○記念講演 藤井伸生さん(京都華頂大教授)

○特別報告 明石市の子育て支援施策 伊藤丈泰さん
(明石市児童総合支援担当次長)

○府内の活動紹介

石野公平さん(ちゃおちゃお)

浦上弘明さん(元八尾市教育長)

・夢うららほっとステーション会長)

参加申込：jun_tsu@doc-net.or.jp (事務局・堤)

子ども貧困ネット活動紹介

子ども貧困ネットでは、①調査活動②子ども食堂③学習支援活動一の3つのワーキンググループを軸に子どもの貧困の実態を掘み、発信し、自治体との交渉、政策提言を行っていきます。

現在、府下で活動する諸団体への訪問を実施しています。活動状況や制度的な問題点について情報収集し、大阪府と面談を行う予定です。

【11月度会議及び今後の日程】

11/6 三役会議

11/24 理事会

11/28 三役会議

12/1 理事会

12/10 2017年度全体会議・総会